

科目名		身体障害評価学Ⅰ			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

評価はリハビリテーションを実践していく上で必要不可欠であり、リハビリテーションの全過程において基盤となるものである。まずは身体障害分野および老年期障害分野に関する共通かつ基礎となる検査・測定について学修する。

〔授業全体の内容の概要〕

前期に学修した各関節の運動方向についての再確認を行うと共に評価の必要性や記録の作成方法等を学修する。また領域共通の評価法として、姿勢評価、握力測定、形態測定をディスカッションや実技を交えながら修得する。また得られた情報を適切に整理・分析し、実際の演習場面に基づいたSOAP形式による記録作成までを行う。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕

1. 各種検査・測定を実施する目的・内容について説明することができる。
2. 各種検査・測定に必要な知識・技術を学修することができる。
3. 正しい検査・測定方法を学修することができる。
4. 対象者へ配慮しつつ、検査・測定を行うことができる。

回数	講義内容
1	作業療法と評価
2	記録と報告の基礎
3	姿勢評価の基礎
4	握力測定と運動方向の確認
5	形態測定①
6	形態測定②（上肢）
7	形態測定③（下肢）
8	実技の統合と記録演習（SOAP作成）
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準作業療法学 作業療法評価学 第4版	岩崎テル子他	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする